

編集後記：今年は5年ぶりに私が長年<sup>ひいき</sup>鼯<sup>き</sup>にして  
 プロ野球の球団が日本一になり、日韓戦も快勝しまし  
 た。負けられない試合が続いた、シーズン最終盤、ク  
 ライマックスシリーズ、そして日本シリーズは大変見  
 応えがありました。その球団がごくまれにスポーツ紙  
 の1面を飾ったときは記念に買うことにしていますが、  
 今年は山積になってしまいました。もっと熱心な  
 友人は、日本一が決まった翌朝6紙を買い集めたそう  
 です。

さて、今年はこれまた私が鼯<sup>き</sup>にして  
 コンピュータを作っている会社が電子書籍を読むのに適し  
 たタブレット型の端末を発売し、好評を博した年でも  
 あります。同僚は、この端末の可能性にいち早く着目  
 し、手に入れました。私は端末を手に入れていません  
 が、論文はPDFを集めるようにしています。印刷せ  
 ずにパソコンで論文を読むことも多くなりました。

山積になるほどスポーツ紙を買う一方、PDFを集  
 める姿は滑稽に映ることでしょうが、別に矛盾してい  
 るとは思いません。新聞には、インクのおい<sup>や</sup>手触  
 り、ページをめくるときの音のような感性を刺激する  
 ものがあるからかもしれません。他方、資料は電子版  
 の方が便利です。電子書籍は読みにくいのが難点でし  
 たが、タブレット型端末の登場により電子書籍への流  
 れは本格化するでしょう。

「天気」は紙の雑誌ですが、PDFでも読めます。  
 PDFを端末に入れば電子版「天気」を先行体験で  
 きるはずですが、でも、電子版だけというのもさみしい  
 気がします。「天気」が届いて封をあけるときのほ  
 かなときめきも捨て難いからです。このときめきを多  
 くの会員の皆様に感じていただいているとすれば、編  
 集委員としてこれほどうれしいことはありません。

(榎本)